



ASTF

Aichi Science & Technology Foundation

公益財団法人科学技術交流財団は、幅広い研究者・技術者の交流を基盤として、産・学・行政の連携と協力により、地域における科学技術に関する活動を支援・推進するために設立されました。

当財団は、愛知県が愛・地球博跡地に整備を進める「知の拠点あいち」に拠点を構え、産・学・行政による科学技術分野の研究会活動、共同研究プロジェクトなどの事業展開を推進しています。また、次世代のモノづくりに不可欠なナノレベルの先端計測分析施設である「あいちシンクロトロン光センター」を運営管理し、付加価値の高いモノづくり技術を支援しています。

組織の概要

名 称 公益財団法人科学技術交流財団 Aichi Science & Technology Foundation

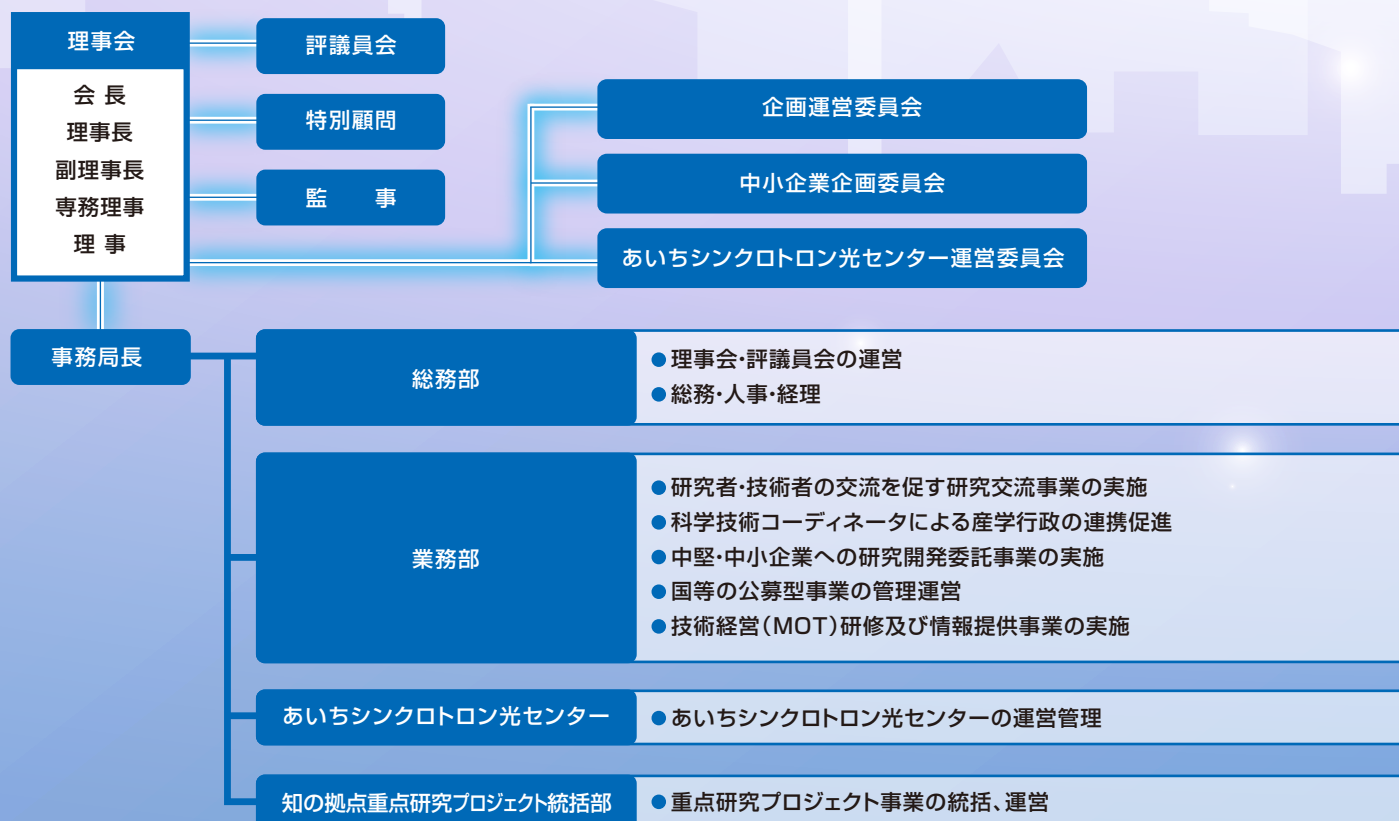
設 立 平成6年9月1日(平成23年4月1日 公益財団法人へ移行)

基本財産 60億3,718万円(令和8年3月末)

役員等

会 長	内山田 竹志 トヨタ自動車(株) 相談役	理 事	一条恒(株豊田自動織機 経営役員)始め 地域の企業、大学、経済団体、行政等を代表する方々 28名
理 事 長	濱口 道成 名古屋大学 名誉教授・元総長	評議員	井上博文(トヨタ自動車(株) 先進技術開発カンパニー President) 始め 地域の企業、大学、行政等を代表する方々 13名
副理事長	古本 伸一郎 愛知県 副知事		

組織図



- 科学技術の振興を目的とする5つの公益目的事業を行っています。
- 科学技術コーディネータを配置し、企業・研究者などから各種相談をお受けし、産・学・行政の連携がスムーズに進むよう幅広い支援を行っています。

公益目的事業

産・学・行政の研究者及び技術者の交流を図る機会を提供する取組

P3-4

共同研究の推進及び研究成果の普及を図る取組

P5-9

科学技術に関する人材の育成を図る取組

P10

科学技術に関する情報を広く一般に提供する取組

P10

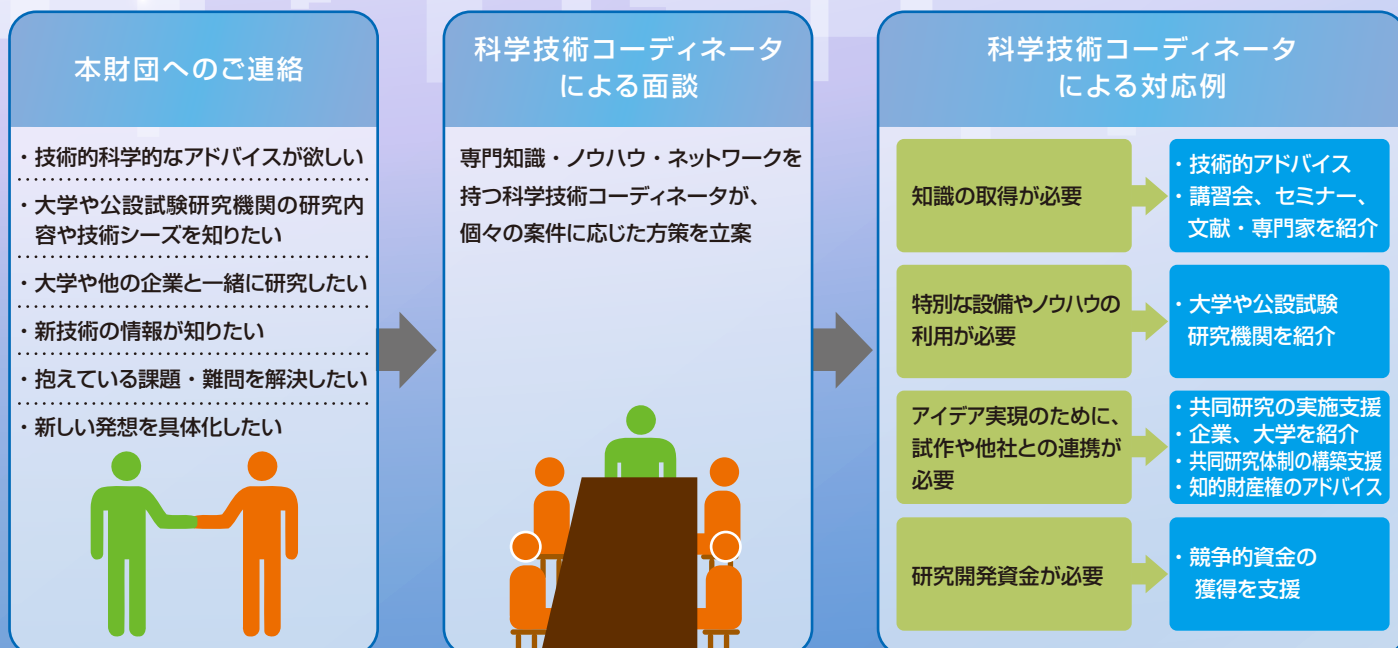
あいちシンクロトロン光センターを運営管理し、研究開発の高度化を促進する取組

P11-13

科学技術コーディネータ

- 産・学・行政連携の手法や知的財産権活用等に精通した「科学技術コーディネータ」が、技術的課題の解決、新製品開発や事業化等の幅広い支援を実施します。

(相談対応の流れ)



産・学・行政の研究者及び技術者の交流を図る機会を提供する取組

発想の芽を創造する交流の場を提供

- 研究者・技術者が既存の組織や分野に捉われず、相互に情報交換できる機会を提供します。
- 先進性・独創性のある研究テーマの進展のために集まった企業・大学等の研究者・技術者の活動を支援します。

主な内容

研究交流クラブ

- 科学技術の新たな芽を生み出す場として、産・学・行政の組織や分野の枠を超えた幅広い交流を図る会員制の組織です。
- 研究者・技術者等による講演会、企業・研究所等の見学会、研修会を定期的に開催します。
- 会員には、メールマガジンにおいて最新の競争的資金等に係る公募情報やイベント情報等を配信しています。



講演会



企業見学会

最近の開催状況

- 講演会
 - ・はやぶさ2とその軌跡、そしてその先へ
 - ・夢を形に！ ナノテクノロジーで創る体内病院
 - ・全固体電池 研究・技術開発の現状・将来と可能性
 - ・製品機能の革新をもたらすバイオミメティクス
 - ・DXの本質とはなにか ～どうすればうまくいくか～
 - ・生成AIの概要と製造業への応用
 - ・NEDOの進める水素社会構築技術開発事業
- 企業見学会 ※五十音順
 - あいちシンクロトン光センター、エイベックス(株)、STATION Ai、シンフォニアテクノロジー(株)、大同特殊鋼(株)、(株)デンソー、(株)中村鉄工所、鍋屋バイテック会社、NEDOカーボンリサイクル実証研究拠点、パナソニック(株)、ひだ宇宙科学館 カミオカラボ 等
- 会員限定無料研修会
 - AI研修「生成AIの基礎と活用」

※科学技術にご関心のある研究者、技術者、経営者、並びに企業・団体の皆様からの入会をお待ちしております。

会 員 種 別	対 象 者	年会費	登録可能者数	登録者以外の参加
法人会員 A	企業等の研究者、技術者、経営者など	10 万円	5 名	可
法人会員 B		3 万円	2 名	可
個人会員	科学技術に関心のある方	1 万円	1 名	不可
学 識 会 員	大学・公的研究機関等の研究者など	5 千円	1 名	不可

研究会事業

- 産学行政の研究者や技術者をメンバーとした研究会を設置し、情報交換や技術トレンドの把握、ヒューマンネットワークの構築の場を提供します。
- 研究会活動をさらに加速化するため、現に研究会として活動中の座長を対象として「研究会プラス」を新設。

令和6～7年度設置研究会	令和7～8年度設置研究会
○生産現場におけるプロセス・インフォマティクス(PI)によるものづくり革新 ○病原性微生物検出・標識のための新技術研究会 ○建設技術のデジタル革新に関する研究会 ○美的感性の定量化と利活用研究会 ○無次元化機能性フィルタの社会実装と核融合炉技術への展開に関する研究会 ○RA-AIMSによる自動分析技術研究会 ○QOL最大化医療コンセプト創成研究会 ○次世代オーバーレイネットワーク技術研究会 ○スペクトル超解像技術応用研究会 ○領域横断的ソフトアクチュエータ応用技術実用化研究会 ○新規永久磁石材料開発研究会 ○ビジネスモデル構築に基づく医工連携ヘルスケアものづくり ○グリーンケミストリーに向けた次世代の有機合成手法に関する研究会 ○2050年のゼロカーボン社会におけるエネルギーシステム研究会	○外場を活用した先進セラミックスコーティングに関する研究会 ○異材成形歯車の用途開発研究会 ○知能・先進電気機器システム研究会 ○生成AIと組織の自律性 ○光医療開発研究会 ○ナノ・マイクロ階層化革新的デバイス創生 ○林野火災抑制に向けた最適消火戦略に関する研究会 ○ソーラーガラス資源活用コンクリート研究会 ○水素燃焼炉の実装に向けた技術開発研究会 ○次世代救命処置サポートシステム研究会 ○繊維強化複合材料(FRP)を用いた社会基盤構造物の強靱化研究会

技術普及推進事業

- 大学や県試験研究機関が持つ次世代技術や基盤技術を中小企業に技術普及・技術移転することを目的に、これらの関係機関と連携して、個別のテーマに基づく先進技術活用セミナーを開催します。

令和7年度に開催したセミナー

- ・高精密加工技術研究会 / 現場カイゼンにおけるIoT活用セミナー / 愛知県つながる工場テストベッド

知識創造型交流事業

- 中小企業一社では対応困難な特定の社会課題や最新のテクノロジーについて、勉強会を通じた知識習得と、先進事例となるトライアル事業を実施し、その成果を普及するためフォーラムを開催します。

令和7年度に開催したトライアル事業

- ・生成 AIによる議事録作成の自動化と製品の実現可否判断効率化に向けた取組
(トライアル企業：(株)池戸製作所、コンサル企業：(株)トライエッティング)
- ・生成 AIを用いたテント膜施工提案の効率化
(トライアル企業：(株)丸八テント商会、コンサル企業：(株) ABEJA)



勉強会開催風景



新交流フォーラム（トライアル成果発表）開催風景

共同研究の推進及び研究成果の普及を図る取組

新たな科学技術を創出する研究開発の促進

- 科学技術コーディネータが大学等のシーズと企業の技術ニーズをマッチングすることにより、種々の共同研究活動を推進します。



主な内容

産学協創チャレンジ研究開発事業（共同研究型）

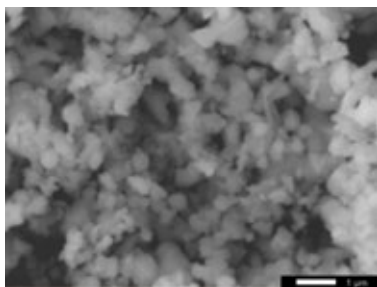
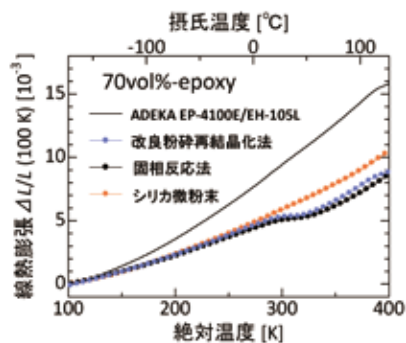
- 地域の中堅・中小企業と大学等の「共同研究体」が、共同研究体を持つ研究シーズを活用して、革新的な製品や製造技術を開発し、実用化・事業化を図る優れた研究テーマに対して研究委託をして支援します。
- 募集分野(以下のとおり)に沿った研究開発課題で、事業終了後3～5年程度で実用化・事業化が可能な革新的な製品・製造技術の実施計画に基づく研究を委託します。

【募集分野】

- モノづくり ○次世代自動車分野 ○航空宇宙分野 ○ロボット分野 ○知財戦略・デザイン重視のモノづくり分野
- 医療福祉 ○健康長寿分野
- 環境エネルギー ○環境・新エネルギー分野 ○水素エネルギーを活用したスマートコミュニティ分野
- AI、IoT ○AI、IoTを活用した産業分野 ○IT産業
- その他 ○農林水産業との連携による新分野 ○都市型産業分野

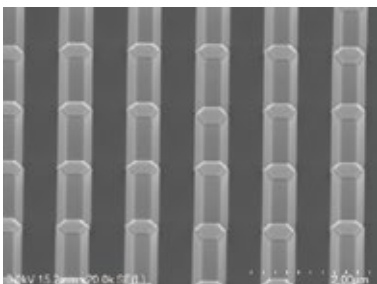
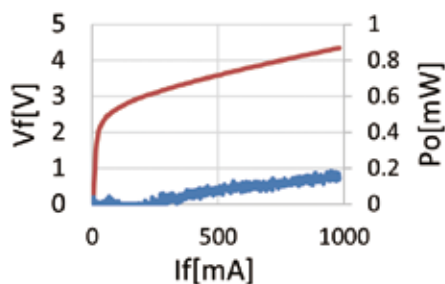
令和7年度に実施したテーマ

- ・負熱膨張性真球微粒子の創製(令和6～7年度)
- ・高出力単一モード窒化物系量子殻レーザーの研究開発(令和6～7年度)
- ・把握力調整能力評価トレーニングデバイスiWakkaの高機能化と付加価値向上(令和7～8年度)
- ・複数の搬送ロボット及び自動運転車両の階層化最適制御理論による協調制御の研究(令和7～8年度)



←改良粉碎再結晶化法で、より小さく、丸く、粒ぞろいに(右図)
代表的な熱膨張抑制剤シリカに対する優位性も実証(左図)

テーマ：負熱膨張性真球微粒子の創製
(提供：名古屋大学、(株)ミサリオ)



←欠陥密度の少ない均一な GaN ナノワイヤ成長の実現(右図)
低抵抗トンネル結合を含む定電圧動作の実現(左図)

テーマ：高出力単一モード窒化物系量子核レーザーの研究開発
(提供：名城大学、E&E Evolution(株))

産学協創チャレンジ研究開発事業（大学シーズ型）

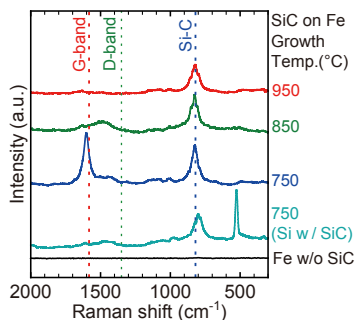
■地域の大学等の研究者が、中小企業の課題解決を図るため、自らの研究シーズをより実用化に近づける研究テーマに対して研究委託をして支援します。

令和7年度に実施したテーマ

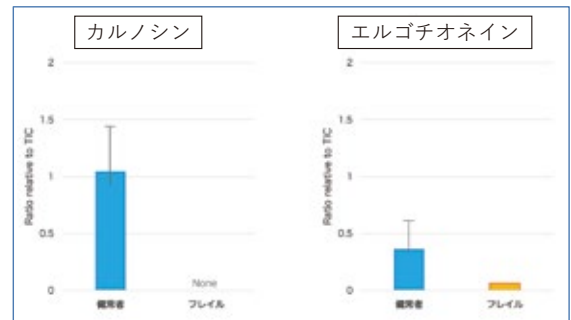
- ・マイクロ波加熱を利用したカーボンニュートラルHYBRID加熱装置の開発
- ・ホットメルトー質量分析法による前フレイルの新規診断法の開発
- ・ビニルシランを用いた鉄系材料へのシリコンカーバイドコーティング開発
- ・海洋生物付着防止のためのコーティング技術の研究開発



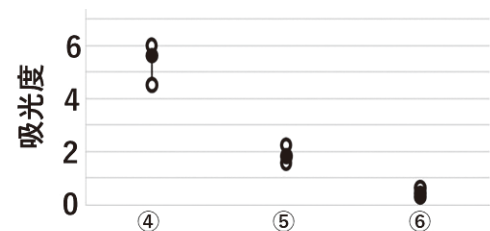
MW-水素バーナーハイブリッド加熱装置(提供：中部大学)



Fe基板上にSiC成膜した試料のUVラマン分光測定結果(比較：Fe基板、Si基板)
(提供：愛知工業大学)



市販医療用粘着テープによる検出結果(提供：名古屋大学)



海洋浸漬試験(④SS400基板、⑤クロムめっき試料、⑥Ag含有アルコキシシラン系樹脂被覆試料)後のCV吸光度測定結果(提供：名古屋大学)

産学協創チャレンジ研究開発事業（企業ニーズ型）

■地域の中堅・中小企業が、自社の課題解決や製品化を図るため、大学等の研究シーズを活用できるかを見極め、第一歩を踏み出すための優れた研究テーマに対して研究委託をして支援します。

令和7年度に実施したテーマ

- ・スズ含有廃液・スラッジからのスズリサイクル事業
- ・水素工業炉を用いた常滑焼成の実証研究
- ・新しい表面処理技術による高速車両向けアルミニウム合金溶接構造物の軽量化
- ・CYPHONICによるマルチ通信環境下でのロボット運用最適化



電解処理で回収した金属スズ
(提供：八熊鍍金工業(株))



高温用水素工業炉
(提供：(株)INUI)



レーザーピーニング試験
(提供：(株)成田製作所)



マルチ通信環境下でのロボットの通信切替え
(提供：知多メディアネットワーク(株))

重点研究プロジェクト事業

■「知の拠点あいち重点研究プロジェクト」とは、大学等の研究シーズを活用したオープンイノベーションにより、県内主要産業が有する課題を解決し、新技術の開発・実用化や新たなサービスの提供を目指す産学行政連携の研究開発プロジェクトであり、公益財団法人科学技術交流財団が、愛知県からの委託により実施しているものです。



重点研究プロジェクトⅤ期の概要

- 期 間 4年間(2025年度から2028年度)
- 参 画 機 関 36大学、10研究開発機関等、54社(2026年3月末時点)
- 応 募 枠 実用枠、挑戦枠、国際枠
- 研 究 分 野 4分野(マニファクチャリング、ヘルスケア、アグリ・フィッシュ、カーボンニュートラル)

各研究分野

マニファクチャリング

概要 自動車、航空宇宙、ロボット、半導体など本県の基幹産業において、次世代モビリティ製造現場の高度化に資する革新的な加工技術、材料開発、設計・制御技術の研究開発を推進

キーワード 次世代自動車、航空宇宙、ロボット、半導体製造、高効率加工 等

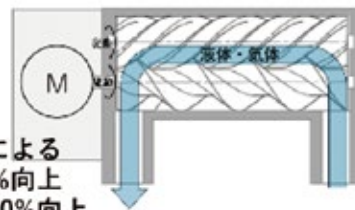
3500Tプレス機



熱可塑複合材高速加熱搬送設備セル(イメージ)



大型熱可塑複合材高速成型設備システム



次世代自動車用の省エネ・小型・静音スクルーポンプの設計技術とその製法開発

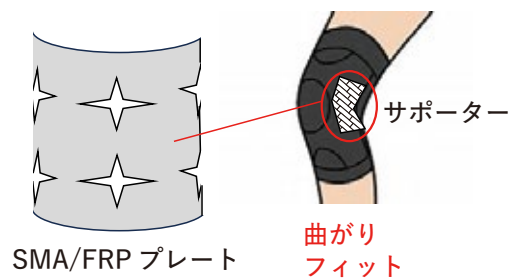
ヘルスケア

概要 健康維持や介護支援、腸活・機能性食品など、多様なニーズに対応する医療・福祉・健康関連技術の開発を通じて、安心・安全な暮らしの実現を目指す

キーワード 介護支援技術、AI医療機器、フレイル対策、健康長寿、酸素技術 等



美味しいノン・ローアルコール健康腸活ビールの試作



膝関節のサポーターへの応用イメージ図

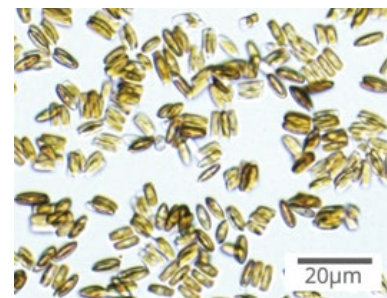
アグリ・フィッシュ

概要 農業・水産業の持続可能な発展に向けて、スマート技術やバイオ発酵技術を活用した生産性向上、高付加価値化、環境調和型の生産システムの構築を推進

キーワード スマート農業、植物工場、養殖技術、感染症対策 等



人口シデロフォアを利用した魚病検出技術の開発



農地を活用した藻類事業の実現に向けた培養技術の開発(珪藻の顕微鏡写真)

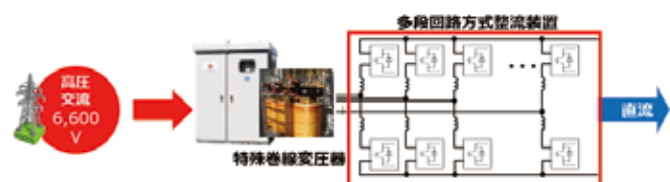
カーボンニュートラル

概要 脱炭素社会の実現に向けて、CO₂の再利用・除去、再生可能エネルギーの活用、革新的材料やエネルギー変換技術の開発を通じて、グリーントランスフォーメーション(GX)を加速

キーワード CO₂吸収・除去、メタネーション、バイオ燃料、次世代バッテリー 等



人協働ロボットによる自動粉体秤量・プレス



提案技術：①半導体素子の多段回路方式整流装置による直流分流通断
②特殊巻線変圧器+整流装置による直流出力制御

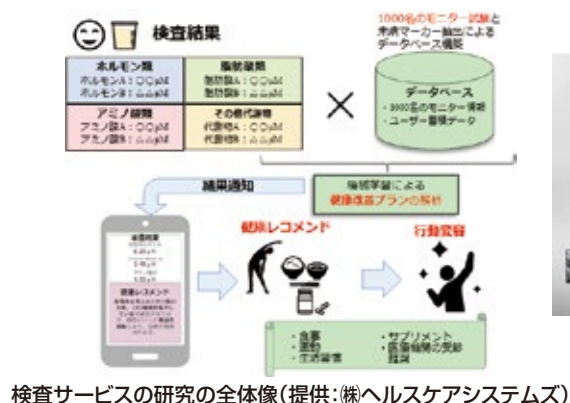
特殊巻線変圧器を用いた電力変換装置

成長型中小企業等研究開発支援事業

- 経済産業省の「成長型中小企業等研究開発支援事業」を活用し、モノづくり技術に資する中小企業と大学等との共同研究を支援する事業です。
- 当財団は事業管理機関として、プロジェクトの運営管理や研究成果の普及啓発、国との間の総合的な連絡窓口を担っています。

令和7年度に実施したテーマ

- ・ 女性の不調を未病段階で検査し健康改善プランをレコメンドする検査サービスの開発
- ・ 機上工具成形技術を用いた高精度加工の実現による革新的金型製造技術の研究開発
- ・ 高性能ダイヤモンドコーティッド工具とその応用切削技術の開発



高精度金型を使用した製品例
(提供: 株式会社テイエスケイ)



コーティッド工具例
(提供: 株式会社CJVインターナショナル)

技術普及推進事業

- 事業化を目指す企業の取組について、大学や各種研究機関と多面的に連携し、総合的な支援を行う事業です。
- IoTやAI分野に特化した専任のアドバイザーを設置し、IoTやAIを活用した案件に対して充実した支援を提供します。
- 国のプロジェクト等の成果を活用し、その成果の更なる社会実装を進める研究会等を実施します。

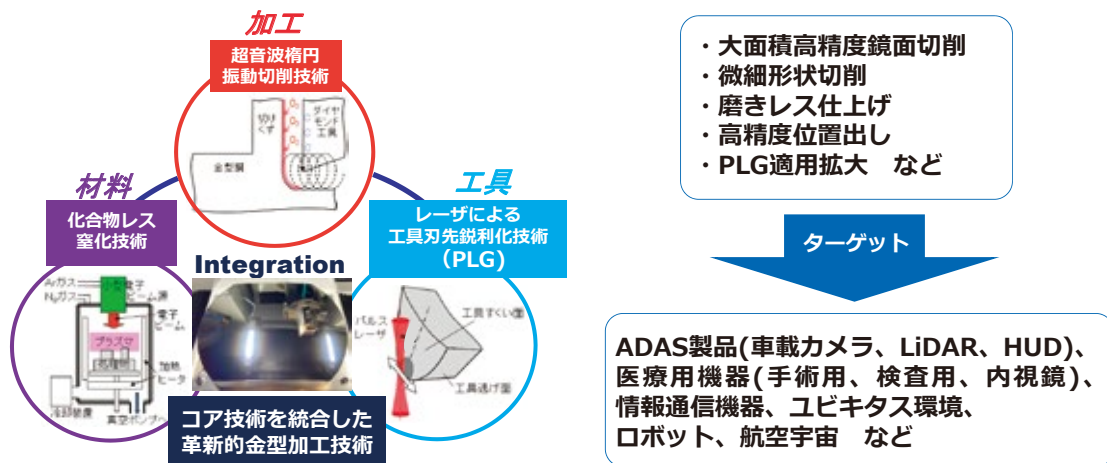
国の大型プロジェクトを経て

■ 高精度加工技術研究会

名古屋大学及び名古屋工業大学の精密機械加工の技術シーズを中心に、産学連携の「知の共創の場」として活動し、モノづくり競争力の維持・強化を図り、人材育成のエコシステムを推進します。コア技術の普及を目指した参加者全体の運営開発会議を開催し、個別の技術課題解決に向けた研究指導への橋渡しを行います。

■ 展開目標

精密加工は今後も日本の産業競争力のコアコンピタンス



■ 参加機関 20社、3団体

令和7年度からは「技術普及推進事業」で実施

科学技術に関する人材の育成を図る取組

次代を担う人材を育成

- 科学技術に関する研修会の実施により、企業・大学・行政等の研究者や技術者に必要な知識・技能を修得する機会を提供します。

技術経営(MOT)研修

■ 近年の急速な科学技術や技術革新の進展、市場ニーズの変化等不確実性が高まっている中、戦略的にビジネスを成功させるためには、技術と経営の双方の専門知識を理解し、研究開発の成果を効率的に新事業・新製品に結実させられる人材が必要です。そこで、当財団では平成17年度から技術経営(MOT)の普及を目的として、MOTに関する基礎的なカリキュラムで構成した研修(講習会、グループワーク)を実施しています。

※技術経営(MOT: Management of Technology)

技術に立脚する事業を行う企業・組織が、持続的发展のために、技術が持つ可能性を見極めて事業に結び付け、経済的価値を創出していくマネジメント
(出典:「技術経営のすすめ MOT」経済産業省産業技術環境局大学連携推進課)



理解を深めるグループワーク

科学技術に関する情報を広く一般に提供する取組

最新の科学技術情報をスピーディーに提供

- 科学技術に関する最新の情報、支援制度の情報を発信します。

情報誌「科学技術交流ニュース」

■ あいちシンクロtron光センターをはじめとする財団の活動状況、IoTやAIをはじめとした最新の技術動向、各種共同研究事業の研究開発成果などを掲載した情報誌「科学技術交流ニュース」を年3回発行しています。

〈主な掲載内容〉

- ・シリーズ企画
「発見! 地域の小さな巨人企業」
- ・財団の各事業の活動状況報告
- ・共同研究等の研究開発成果発表
- ・研究交流クラブの開催報告 等



あいちシンクロトロン光センターを運営管理し、研究開発の高度化を促進する取組

シンクロトロン光利用施設の産業利用により、次世代モノづくり技術の発展に貢献

- あいちシンクロトロン光センターは、「知の拠点あいち」の基幹機能のひとつで、次世代のモノづくりに不可欠なナノレベルの先端計測分析施設です。
- この施設は、愛知県をはじめとする産学行政の支援、協力のもと、企業・大学に広く活用していただくことを目的に当財団が管理運営を行っています。

本施設の特徴

- シンクロトロン光施設では、太陽光の100万倍といわれる非常に明るい光により、短時間で計測分析ができます。非破壊・実使用環境下での計測分析、極微量でも計測分析が可能であり、幅広い産業分野で活用されています。

モノづくりに対応できる仕様と設備

- 常時安定した光を供給するトップアップ運転を実施
- 産業界の利用ニーズが高い硬X線領域に対応
- エネルギー領域の異なる5本のXAFS(X線吸収微細構造)ビームラインにより、ほぼすべての元素を対象とした分析が可能
- 使いやすい装置設計、材料の実使用環境を再現できる実験設備の充実
- あいち産業科学技術総合センター(愛知県が運営)の高度計測分析機器(電子顕微鏡等)との連携による運用

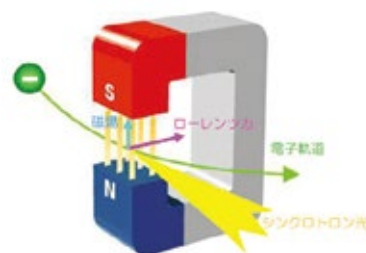
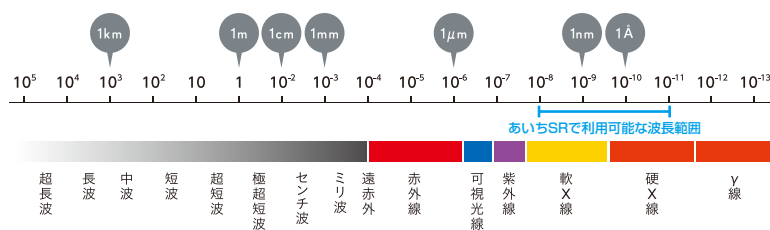
様々な利用形態の実現

- 産業利用コーディネータによる利用相談、専任のビームライン技術者及び大学研究者による利用支援と技術支援
- 産業利用を意識した利用メニューや柔軟な利用形態の提供(原則成果非公開、課題審査なし)
- 中小企業相談窓口を設置し、わかりやすい説明などきめ細やかな対応

測定の仕組み

- 光源で発生させたシンクロトロン光を、ビームライン末端に設置した実験測定装置内の試料に照射することにより、化学結合状態や結晶構造を解明します。

シンクロトロン光とは 真空中をほぼ光速で直進する電子が、強い磁場により、その進行方向を変えられた際に発生する電磁波(光)のことです。



シンクロトロン光の特徴

1 太陽光の100万倍の極めて明るい光

- ・短時間での測定が可能。
- ・実験室の装置では不可能な僅かな変化や微小な構造の違いまで測定可能。

極めて明るい	
シンクロトロン光	太陽光
太陽光の100万倍	
迅速分析／微量元素分析	

2 X線は透過力が高く非破壊で内部が見える

- ・物質内部を見透すことが可能。
- ・材料内部の構造や含まれる元素、化学結合状態まで調べることが可能。

透過力が高い	
	・非破壊で内部の構造を見透す ・元素に特有の放射・吸収スペクトルで元素組成や化学結合状態を知る
透過イメージング／元素分析	

3 X線は波長が短く目的の構造が見える

- ・試料にあたったX線は回折を起こす。
- ・回折パターンから結晶の構造や大きさを決めることが可能。

回折が起きる	
	波長(nm) ~ 結晶格子間隔 回折パターン
結晶回折／散乱	

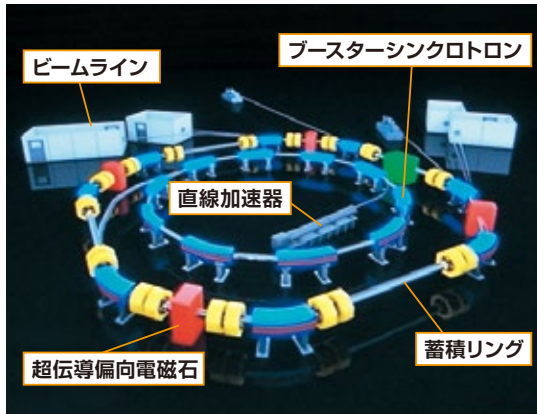
これらの特徴により、最先端の科学研究や応用技術の分析・解析に用いることができ「夢の光」と呼ばれています。

装置の概要

■ 光源装置

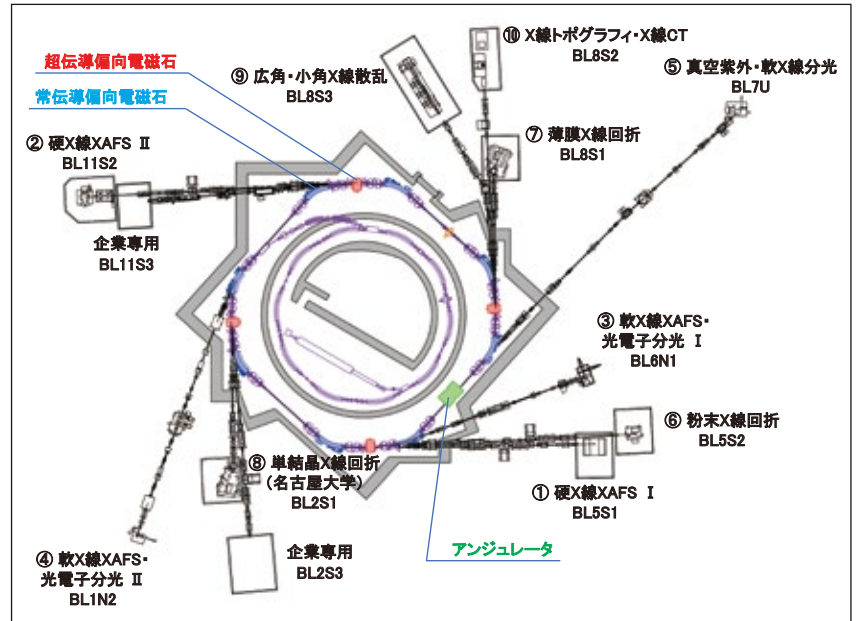
- ・50MeVの直線加速器とブースターシンクロトロンを使用することで、1.2GeVのエネルギーの電子を供給する
- ・周長72mの蓄積リングに4台の5T超伝導偏向電磁石を設置し、小型でありながら産業利用で有効な30keV近い硬X線を発生する
- ・損失電子を供給するトップアップ運転で光の強度を一定に保つ

[12本のビームライン配置]



■ ビームラインの構成

- ・ビームラインとは、シンクロトロン光を測定に適した光に加工し、測定を行う装置
- ・産業利用ニーズの高い10本の共用ビームラインと企業専用のビームライン2本の計12本を運用



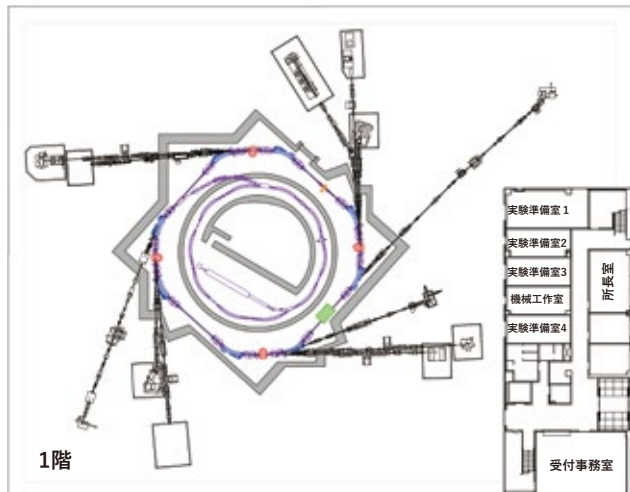
共用ビームライン一覧

	ビームライン名	測定手法	利用分野
①	硬X線XAFS I BL5S1	硬X線XAFS 蛍光X線	材料中の特定元素の化学状態と局所構造 (原子間距離と配置数)、微量元素の検出
②	硬X線XAFS II BL11S2	硬X線XAFS 多機能型	BL5S1と同様であるが、実使用環境下での測定や、 大型の持ち込み装置の利用が可能
③	軟X線XAFS・光電子分光 I BL6N1	軟X線XAFS 光電子分光	材料中の特定元素の化学状態と局所構造 (原子間距離と配置数)、結合エネルギー、バンド構造
④	軟X線XAFS・光電子分光 II BL1N2	軟X線XAFS 超軟X線XAFS 光電子分光	材料中の特定元素の化学状態と局所構造 (原子間距離と配置数)、結合エネルギー、バンド構造
⑤	真空紫外・軟X線分光 BL7U	超軟X線XAFS 真空紫外分光 光電子分光	固体材料中の特定元素の化学状態、 結合エネルギー、バンド構造
⑥	粉末X線回折 BL5S2	粉末X線回折	セラミックス、触媒、錯体、薬剤などの結晶構造
⑦	薄膜X線回折 BL8S1	X線反射率 薄膜表面X線回折	有機・無機多層薄膜の膜厚、表面や膜境界面の凸凹、膜密度、 単結晶薄膜構造、応力測定、粉末X線回折、結晶構造
⑧	単結晶X線回折(名古屋大学) BL2S1	単結晶X線回折	タンパク質や化合物の単結晶(粉末)の構造解析に利用
⑨	広角・小角X線散乱 BL8S3	広角・小角散乱	繊維の結晶/非結晶構造、ゴム・樹脂、有機フィルム・ 生体などのサイズや形状、分散状態高次構造 広角散乱と小角散乱の同時測定も可能
⑩	X線トポグラフィ・X線CT BL8S2	X線トポグラフィ X線CT	材料の結晶欠陥の観察・評価、X線CT、物体の内部構造

建屋の概要

■ ビームラインが設置されている実験ホール

ユーザーの実験を支援する機器を設置し、実験の準備等を行うための実験準備室を配置



■ ユーザーの休憩場所である交流スペース

実験ホールが見渡せ、施設の模型等を展示する見学スペース、打合せ室等を配置



施設利用について

■ 利用日(時間)

火曜日～金曜日 (①10:00～14:00、②14:30～18:30の2シフト制)

※祝日、月曜日が祝日の場合の火曜日、年末年始(12/29～1/3)及びメンテナンス期間(年度始め・1か月程度)は利用できません。

■ 利用申込

原則、毎月初めに翌月の定期利用申込を受け付けています。但し、メンテナンスのために4月分は募集がありません。

※詳細は、あいちシンクロトロン光センターホームページ(<https://www.aichisr.jp>)をご確認ください。

■ 測定代行

施設スタッフが、ユーザーに代わって測定を行います。手続きを行うことで立ち会いも可能です。

■ 中小企業相談窓口

産業利用コーディネータが施設利用や実験に関する相談に対しきめ細やかに対応し、中小企業のご利用を支援します。

当センターの主な活用事例

- X線小角散乱を用いた毛髪補修効果に関する毛髪内微細構造解析
- 水素雰囲気中でのIn-situ XAFS測定によるPt系薄膜材料の触媒機能の解析
- 界面欠陥導入Pt/CNT系触媒の性状と酸素還元反応活性の関係に関する検討
- 燃料電池触媒層の状態イメージングに向けたBL11S2の2D/3D-XAFS測定システムの検討
- Structural Elucidation of Sulfur Confined in Nanoporous Carbon for Lithium-Sulfur Battery Applications
- NEXAFSによるポリブチレンテレフタレートフィルムの配向性評価検討
- 極低温合成したカーボン系薄膜のNEXAFS構造解析
- Ti膜/シリカフィラー含有エポキシ樹脂界面の化学結合状態評価



「知の拠点あいち」

- 付加価値の高いモノづくりを支援するため、愛知県が整備を進める研究開発拠点
モノづくりのイノベーションの基盤となるナノテクノロジーを核に、IT、バイオも融合した研究プロジェクトを展開し、革新的な製造システム、付加価値の高い製品・素材につながる技術の創造を目指す。
- 「あいち産業科学技術総合センター」を中核として、「あいちシンクロトロン光センター」などの先端研究・実験施設などの立地、集積を図っていく。

■ 施設内容

施設名	あいち産業科学技術総合センター	あいちシンクロトロン光センター
位置付け	「知の拠点あいち」の中核施設	「産業利用」を目的とした地域共同計測分析施設
供用開始	平成24年2月	平成25年3月
機能	●産学行政による共同研究開発の推進 ●高度計測分析機器による依頼試験など	シンクロトロン光によるナノレベルの計測分析
整備主体	愛知県	(公財) 科学技術交流財団
その他	(公財) 科学技術交流財団が入居	

実証研究エリア

- 実証研究フィールドを企業等に提供し、次世代成長分野の関連技術の実用化を促進

■ 所在地

愛知県豊田市八草町秋合1267番1、瀬戸市南山口町250番3

■ 沿革

年 月	事 項
平成17年1月	「愛知県産業創造計画」策定。「知」の拠点づくりの検討、具体化を位置づけ
平成18年3月	「第2期愛知県科学技術基本計画」策定。「知」の拠点づくりに向けた取組を明確化
平成19年3月	「『知の拠点』基本計画」策定
平成24年2月	「あいち産業科学技術総合センター」供用開始
平成25年3月	「あいちシンクロトロン光センター」供用開始
平成28年3月	「新エネルギー実証研究エリア（現：実証研究エリア）」供用開始
令和 6年4月	「瀬戸窯業試験場」を「知の拠点あいち」内に移設





公益財団法人 科学技術交流財団

Aichi Science & Technology Foundation

<https://www.astf.or.jp/> E-mail: astf1@astf.or.jp

本部

〒470-0356

愛知県豊田市八草町秋合1267番1

「知の拠点あいち」あいち産業科学技術総合センター内

2F	総務部	TEL 0561-76-8321 (ダイヤルイン)	
	業務部	TEL 0561-76-8325 (ダイヤルイン)	FAX 0561-21-1651
3F	知の拠点重点研究プロジェクト統括部	TEL 0561-76-8326 (ダイヤルイン)	FAX 0561-21-1653

あいちシンクロtron光センター

〒489-0965

愛知県瀬戸市南山口町250番3

「知の拠点あいち」内

TEL: 0561-76-8331 (ダイヤルイン) FAX: 0561-21-1652

URL: <https://www.aichisr.jp/>

E-mail: aichisr@aichisr.jp



□鉄道

- 名古屋(地下鉄東山線)→藤が丘(東部丘陵線リニモ)→陶磁資料館南(名古屋駅から約50分)
- 豊田、岡崎又は高蔵寺(愛知環状鉄道)→八草(東部丘陵線リニモ)→陶磁資料館南

□道路

- 東名高速道路・名古屋ICより東へ約7km
- 東名高速道路・日進JCT→名古屋瀬戸道路・長久手ICより東へ約3km
- 東海環状自動車道・豊田藤岡IC→猿投グリーンロード・八草ICより西へ約800m

研究交流センター

〒450-0002

愛知県名古屋市中村区名駅四丁目4番38号

愛知県産業労働センター(ウインクあいち)15階



□鉄道

JR線、名鉄線、近鉄線、地下鉄「名古屋」下車 徒歩4分